

鉄砲洲神社詩吟 素読論語解説

(平成 25 年 7 月 5 日)

子路 第十三

【一】子路 政^{まつりごと}を問う。子曰く、之^こに先^きんじ之^こに勞^{ろう}すと。益^{えき}を請^こう。曰く、倦^うむこと無^なかれと。

子路が政治の要諦を孔子に聞きました。孔子は、「人々の先頭に立って働き人々に十分ねぎらいなさい」そこでそう答えた後で、さらに「お前は飽きっぽいから、途中で放り投げてはいけない」と付け加えています。

有名な話があります。子路が入門を申し込む時に、色々なものを身に飾り立てぶら下げていました。武器もたくさん身につけ肩をゆすって、孔子の所に飛び込んで来て弟子になりました。最初から激しすぎる人間として登場していますので、そこら辺の経緯を見ていくと孔子が子路には苦笑しながら「お前は言い過ぎだよ、やり過ぎだよ、もうちょっと控えなさい」と何かにつけて言う。子路に対して言えば他の門弟がおとなしくなる。子路は叱られ役でお弟子さん達の先導役という風に思って御覧になると良いでしょう。

子路が政治の要諦を問うという部分です。政治の要諦とはインテリジェンスが必要である。インテリジェンスとは情報です。情報は漏洩をしてはいけません。余分なことを申しますと、日本は情報漏洩天国です。ある講演会で、それに携わった人間が命をかけて守らなければならぬということで、現実には自殺をした日本人もいたという話がありました。情報漏洩で垂らしこまれた人はそういう状況になる。「日本というのは、情報を漏洩した者に対しても、秘密を守った者に対しても、実にそこら辺が冷たい国ですね」というよう感覚が混ざっておりました。政治の上に立った人間はそこら辺を忘れてはいけません。

私は北方領土に関して一冊本を出していますので、ある程度は北方領土に関して知識があると思っていたのですが、その講演で一つ驚いたものがありました。日本は吉田茂さんの時に、国後・択捉を一度放棄しているそうです。水面下のところでお互いの国は分かっているそうですが、公のものには出さない。それを踏まえて森元首相が現役の総理の時に、ソ連との交渉時に「承知しています」というメッセージを出して水面下で交渉に入ったが、森元首相が退陣した時には消えてしまったそうです。今回の安倍政権は「森さんのスタイルを踏襲します」とソ連にメッセージを送ったので、プーチンさんは「引き分け」というメッセージを送り返して安倍さんは「それを受けた」ということが水面下で始まっていますから、もしかすると四島返還というものではなくて、違った形の運動が始まるかもしれませんという内容でした。

翌日の新聞に出ていましたけれど、これらの微妙な部分はカットしていました。一番大

事な部分は全部カットして、動くという部分だけのメッセージが流れていました。引き分けの水面下では、過去の吉田茂、森喜朗を全部カットして新聞に載っています。マスコミが流すものは、「どうも怖いぞ」という感じが私はしました。政の要諦に関しては、過去の経緯を踏んで忘れてはならん、飽きて放り出してはいけないというものと同時に代々の政権は公表してはならないものは伝え続け文章としては残さないけれど、伝え続けているものがあるという風に読み解く必要性を私は感じました。

孔子は子路に、「お前は飽きっぽい性格だから、最後までやりなさい、途中で投げ出してはいけない」ということを言いましたが、これはそのまま「安倍さんは一回目を投げ出したから、二回目は投げ出さないで最後までおやんなさい」と孔子に言われているようなものだを見ると、ちょっと面白いです。今回は知恵袋がついているから安倍政権は長く続くように、素直に周りの言うことを従いながらやっているようですね。

【二】 仲弓 季氏の宰と為り、政を問う。子曰く、有司を先にし、小過を赦し、賢才を挙げよと。曰く、焉んぞ賢才を知りて之を挙げんと。曰く、爾が知る所を挙げよ。爾が知らざる所は、人其れ諸を舍かんやと。

仲弓が季氏の懐刀となって、日本でいえば家宰みたいなもので、自分のところの政治の要諦をお聞きしました。孔子は、小さな過ちは赦しなさい。立派な才能を持っている人間を登用しなさい。お前が素晴らしいと思う人間を挙げなさい。もし挙げられなくても、他の人々が必ず素晴らしい人間を推薦するものだ。ただしお前が本当に能力のある人間で、そういう人物を登用するというのが周りに知れ渡れば、誰か必ず推薦をしてお前の前に出てくるであろう。言い方を変えれば、お前を無能、馬鹿だと周りが思っていたら、そういう人は推薦しないものだ。だから自分を磨きなさい、自分を磨けば周りが捨ててはおかないと繋がります。従ってまず自分自身を磨くのが先だと仲弓には言っていると思います。

今のところ安倍さんには自薦他薦で賢才が雲霞のごとく集まってきつつあると見えますので、集まってきた人物も賢才なのか頓才なのか、または悪才なのか。日本の国の方向性という風なものが見えてくるでしょう。参議院選挙が終わるまでは好景氣を演出しつづけるでしょうから、選挙が終わったら消費税はあげます。それから物価はあがります。中小・零細企業の給料は上がりませんし年金もカットです。国民の収入はどんどん減るけれど、物価は上がるというのがドンと出てくるでしょうから、年末はかなり苦しい。年越しをする頃には、たぶん中小・零細企業は倒産が増えるでしょう。その救済措置は取らないように感じますが「仲弓季子の才となり、政を問う」という辺りを、安倍さんの周りにいる学者達がアドバイスをするべきではないかと思えます。孔子の時代であれば、素晴らしい人

物は周りが放っておかないから推薦をする。政治の決裁権を持っている人間の前には、必ず誰か押し出してくるから、優秀な人物は必ず出てくるものだと言いきっているけれども、それははたして現代ではどうなのだろうかと感じます。